

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ひろば		公表日		令和8年4月8日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		6	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		6		・適切に配置されています。非常勤職員が増え、児童指導員の育成にも努めています。また、他部署職員やボランティアに協力してもらいこどもが満足して過ごせる人員を整えています。	・女性の常勤職員が少ないため、女性利用者の対応について、相談や情報を共有しづらい面があり、その点において保護者の方が心配を抱かれています。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		6		・生活（食事・おやつなど）の場と遊び・休息の場を分けており、こどもがわかりやすい構造をしています。また、バリアフリーになっている事、トイレには便座だけでなくベッドもあり、個々に応じた支援の対応ができます。		
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		6		・施設が広いので、活動に応じて室内や玄関前などを使用して空間を確保しています。 ・利用前後には掃除、消毒をしています。感染症対策として適時換気も行っています。		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		5	1	・静かな場所を好むこどもや休息をしたいこどもに合わせて場所を設けています。パーティションを使用する事もあります。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		6		・看護師会議や理学療法士との会議を持つようにし、多角的にこどもへの支援を検討しています。	・看護師、理学療法士との連携をより密にしていける必要を感じます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		6		・保護者会や普段の利用からも聞き取りをしています。 ・ホームページの公表と合わせて保護者に集計結果、総括を配布しています。	・改善については真摯に受け止め、検討事項としています。少しずつでも改善する事が必要ですが、感染対策などから制限される面もあります。できる事を一つずつ改善していく事がまず課題だと感じます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		6		・会議や日々のミーティング、送迎時など話がしやすい空間で意見を聞くようにしています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			6		・法人には第三者委員会が設置されていますが、現状は評価まで対応されていません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		6		・施設内の研修企画や外部研修を受ける機会を作っています。法人委員会がそれぞれ研修を企画し、職種、勤務形態に限らず研修を受けられるようにしています。	・サービス提供時間中の研修になると、職員体制の関係で外部の研修に出れない事が多いです。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		6		・作成しホームページにて公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		6		・個人面談やモニタリング時期に聞き取り・アンケートを行いアセスメントをとり、個別支援計画の作成に繋がっています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		6		・計画書（案）を作成後は会議を持ち、共有しています。多角的に利用者への意見を出し合い、必要に応じて計画書を修正しています。	・全体で集まれる機会が少ないため、意見を交わすという意味では課題があります。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		6		・常勤職員とは会議を持つ事で共有し、会議参加が難しい非常勤職員には出勤時にミーティングと合わせて共有するようにしています。	

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	3	標準化ツールは用いていませんが、各こどもの日々の様子を記録し、保護者とも現在の様子を情報共有をしながら支援計画におこすようにしています。	・標準化のツールは用いていません。今後の支援の見直しに活かす為に検討していきます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		・個別支援計画を作成する際は現在の成長段階に合わせた支援ができるように、職員間でモニタリング、保護者の方とも大切にしたい支援、課題としている面を確認しながら、本人支援・家族支援・移行支援・地域支援・地域連携の欄に記入をしています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		・担当職員が原案を立て、その内容について会議で検討を行うようにしています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・制作であれば素材や道具、方法などに変化を持たせ様々な経験ができるように計画をしています。運動系についても内容を工夫しながら固定化しないように取り組んでいます。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		・本人支援では個別活動や集団活動を意識した内容を盛り込むようにしています。また、専門的支援を取り入れ個別の運動機会やグループでの運動機会を設けています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		支援前、支援中、支援後そのつど情報共有を行い、連携するようにしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		支援終了後には必ずミーティングを行い、当日の振り返り、送迎時での申し送りをしています。非常勤職員には翌日、支援前のミーティングで必要事項を共有するようにしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		・管理日誌やケース記録などに記録し、職員間で共有する事で検証・改善に繋がっています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		・半年ごとにモニタリング、計画の見直しを行い保護者に説明をしています。	
関係機関や保護	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6		・放課後等デイサービス計画にも4つの基本活動が複数組み合わせ支援が行えるように作成しています。	・地域支援、地域連携は感染対策の中では範囲が限られている面もあり課題を感じています。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		・声、目線、手の力などそれぞれのこどもの力に合わせて自己決定する機会を大切にしています。 ・選択する機会を大切に、こどもの意思決定にも繋げられるようにしています。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		・児童発達支援管理責任者が参加し、情報共有を行っています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2	・教育機関や他事業所との連携は適時行うようにしています。月に1回の重症児通所支援連絡会では他事業所との情報交換を行う場となっています。嘱託医にも毎月相談や報告を実施しています。	・主治医がいる医療機関とは保護者に間にあってもらう事が多いためどちらとも言えません。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		・日々のお迎え時に連絡調整を行っている事に加えて、事業所連絡会や学校公開には積極的に参加するようにしています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		・1名小学部入学の方がいましたが、今回は事前にこども発達センターと情報共有をする事ができませんでした。本来ならば、相談支援員を通すなどして取り組むようにしています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		・法人内に生活介護施設があり、卒業後の進路に選ばれる方も多いため、卒業前から情報提供をする事で、卒業後にこどもも職員も安心して利用できるようにしています。	・他の生活介護事業所からの問い合わせがないため、こちらから情報提供をする事はありません。学校から申し送りがされているので、放課後等デイサービスへの聞き取りをする必要はないと思われている面もあるのではないかと思います。

保護者との連携	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	4	利用前、利用後に子ども発達センターの相談支援員を経由して情報の聞き取りをしている事が多いです。	・現状は行えていません。相談支援事業所を通して情報が入る事も多いですが、子ども発達センターを卒業して利用する方もいるので、連携をより深める必要があると感じています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。		6	・地域の公園や買い物、初詣など、施設外での活動を企画する事で、交流とまではいきませんが、挨拶を交わし、お互いが地域で共存する事を知ってもらおう機会にしたいと考えています。	・児童クラブや児童館は相手側との交流の想い（ねらい）が一致していないと難しいと感じます。職員同士が全く知らない中で企画する事の難しさもあります。 ・感染対応もあり、外部との交流が難しい現状にあります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6		・管理者、児童発達支援管理責任者、職員含めて積極的に参加するようにしています。	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・送迎時や電話での対応など、保護者とは常に子どもの発達状況や課題などについて情報共有をしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	・昨年度は重症児通所支援連絡会で研修を企画しました。保護者の方にも参加を呼びかけるようにしました。今後も企画をして発信したいと考えています。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		・契約時や保護者会、毎年の個人面談時に説明をさせていただいています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		・年度末のモニタリングの報告時や面談時に子どもや保護者の方へ希望を聞きとり、放課後等デイサービス計画に盛り込むようにしています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		・送迎時や個人面談時など、お時間を作ってもらい、ご説明をさせていただいたうえで、同意をいただいています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・相談の内容に応じ、各専門職にアドバイスをもらいながら対応をしています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	2	4	・保護者会を開催し、交流や日々の想いを保護者の方同士で話し合える場を作っています。内容については工夫が必要とも思っています。	・保護者会は開催しているが、きょうだい同士が交流できるような場はコロナ禍以降つくれていません。感染対策のため中止しています。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		・保護者の方からご連絡をいただいた際は、対応・対策などを含めて丁寧に対応をさせていただくように心がけています。 ・苦情受付等については面談時に窓口についてはご説明させていただいています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		・通信や自己評価、支援プログラムについては随時更新をしています。 ・写真の更新は定期的に業者に依頼し変更をする事ができています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		・個人情報の同意書をもらったうえで、情報の取り扱いには注意をしています。・ホームページ掲載に関しても同意書をもらったうえで対応しており、掲載不可の方については十分注意をしています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		・子どもそれぞれの意思伝達方法に配慮しながら対応しています。サイン、絵カードや文字盤といったツールを使用する事もあります。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3	・行事や活動にボランティアの受け入れをしており、地域の方との交流ができるようにしています。	・コロナ禍後、感染対策もありバザーなどの行事は中止されています。
46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		マニュアルについては法人委員会で作成され、それに基づいて事業所用にも作成しています。訓練、研修も定期的実施しています。	・保護者の方への発信もしていますが、契約時、保護者会などだけで十分ではないかもしれません。取り組みの発信が課題かと思えます。	
47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		・BCPは作成されています。BCPを用いた研修を今年度実施しています。	・職員への周知が課題です。避難訓練、研修等は行っているが、実際に起きた時に動けるようにするにはもっと訓練が必要と感じています。	

非常時等の対応	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		・契約時や毎年の個人面談時に確認しています。一覧表を作成し、職員が周知できるようにしています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		・医師の指示書はもらっていませんが、保護者の方からの申し出で、栄養士と連携して対応しています。昼食メニューが決まった際には、栄養士と対応食を検討し保護者の方と確認を取っています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		・安全計画を作成し、職員間で共有、研修を実施しています。	・実際に起きた時に動けるようにするにはもっと訓練が必要と感じています。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		・安全計画については保護者の方にも保護者会などを通して報告しています。加えて、防災マニュアルの配布、避難訓練等については随時連絡をしています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		・ヒヤリハット、事故報告があった場合は、当日中にミーティングを行い検証しています。報告書を作成し、ファイル化しています。ミーティングに参加できなかった職員には口頭と報告書を用いて伝え共有しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		・虐待防止委員会、身体拘束適正化委員会へ参加し、その中での情報提供を職員に行っています。研修については委員会で企画して法人として取り組んでいます。また外部の研修にも参加しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		・身体拘束について説明し了承を得て同意書をいただいています。また、身体拘束を行った場合は保護者の方への報告、記録、改善についてもミーティングや会議にて検討する事としています。	